

「横浜のみちづくりのあり方に関する検討調査業務委託」契約結果

横浜のみちづくりのあり方に関する検討調査業務委託について、指名型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 横浜のみちづくりのあり方に関する検討調査業務委託
- 2 委託内容 これまでの取組の整理・検証、今後の施策展開の整理等
- 3 契約の相手方 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
- 4 契約金額 6,976,800 円
- 5 契約日 平成28年12月22日
- 6 評価結果

提案者	評価点数	順位
中央復建コンサルタンツ株式会社	420	3
大日本コンサルタント株式会社	594	2
パシフィックコンサルタンツ株式会社	380	4
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	600	1

7 評価基準・評価委員会開催経過等

■委員会開催日時及び開催場所

ヒアリング 平成28年11月28日(月) 9:15~12:00 松村ビル別館 603会議室
評価結果まとめ 平成28年11月28日(月) 15:00~16:00 横浜関内ビル9階 道路局会議室

■主な発言内容

【受託候補者について】

視点が多角的かつ独創性で、ロードマップ作成に向けたトレンドや分析方法が詳細に述べられており、業務に対して強い意欲も感じられ、成果に期待を抱かせるものであった。

■評価基準

別紙の通り

- 8 問合せ先 道路局企画課 坂入、中村
電話 671-2779

提案書評価基準

1 評価事項

表1 基本的評価事項

評価項目	評価の視点		配点	評価点				
				A社	B社	C社	D社	...
業務実施体制 (60点)	管理技術者	①実績内容	20					
		②手持ち業務量	5					
		③技術資格・経験	5					
	主たる担当技術者	④実績内容	20					
		⑤手持ち業務量	10					
業務実施方針等 (60点×8人 =480点)	⑥業務実施計画		10×8人					
	⑦本市における道路交通の歴史・現状・課題認識の調査・分析方法		15×8人					
	⑧道路交通に関する最新の知見やトレンド等の調査・分析方法		15×8人					
	⑨ロードマップの整理方法		20×8人					
その他 (20点×8人 =160点)	⑩取組意欲		5×8人					
	⑪理解度		10×8人					
	⑫資料作成能力		5×8人					
評価の合計 (700点)			700					

2 評価方法

(1) 「業務実施体制 (様式6~8)」に関する評価 (①~⑤)

ア 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行う。

イ 評価は各項目5点満点とし、A=5点、B=3点、C=0点とする。

例えば、①の場合、評価がAであれば、 $20 \times 5 / 5 = 20$ 点

評価がBであれば、 $20 \times 3 / 5 = 12$ 点

評価がCであれば、 $20 \times 0 / 5 = 0$ 点

ウ 但し、①~⑤について評価項目が評価Cに該当すると欠格となり、特定しない。

エ 類似業務とは、以下の業務とする。

平成23年度以降に完了した業務で、道路交通施策に関する中長期的なビジョンの策定に関する検討業務のうち、応募者が本業務と類似する実績と判断するもの。最新の実績を優先する。

オ 担当技術者の技術資格とは、以下の資格とする。

管理技術者：技術士（建設部門：「都市及び地方計画」若しくは「道路」）

照査技術者：技術士（建設部門：「都市及び地方計画」若しくは「道路」）

カ 手持ち業務量

管理技術者：提案書提出日において、技術者として携わる業務が10件未満かつ契約金額合計4億円未満（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）

主たる担当技術者：提案書提出日において、技術者として携わる業務が10件未満かつ契約金額合計4億円未満（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）

ものを含む)

(2) 「業務の実施方針等(様式9~12)」に関する評価(⑥~⑨)

- ア 各評価項目について、◎、○、□、△、▲の5段階評価を行うことを標準とする。
- イ 評価は各項目5点満点とし、◎=5点、○=4点、□=3点、△=2点、▲=0点とする。

例えば、⑦の場合、評価が◎であれば、 $15 \times 5 / 5 = 15$ 点
評価が○であれば、 $15 \times 4 / 5 = 12$ 点
評価が□であれば、 $15 \times 3 / 5 = 9$ 点
評価が△であれば、 $15 \times 2 / 5 = 6$ 点
評価が▲であれば、 $15 \times 0 / 5 = 0$ 点

ウ 評価の考え方

- ◎：優れた提案内容となっている
- ：かなり掘り下げた内容となっている
- ：標準的な提案内容となっている
- △：もう少し掘り下げた検討が必要と思われる
- ▲：設計者の取り組み意欲が感じられない

(3) 「その他」に関する評価(⑩~⑫)

- ア 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行う。
- イ ⑩、⑫の評価は5点満点とし、A=5点、B=3点、C=0点とする。⑪の評価は10点満点とし、A=10点、B=5点、C=0点とする。

(4) 評価結果

- ア 上記(1)については、1社ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- イ 上記(2)・(3)については、1社ごとに各評価委員が評価した合計点数を全員分集計し、その「合計点」を当該提案者の評価結果とする。
- イ 評価点の合計は満点で700点とする。

(5) 各評価項目の評価の視点は表2のとおり。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価		
			A	B	C
業務実施体制	管理技術者	①過去5年間の類似業務の実績(評価Cは欠格)	本業務と類似する高度な実績がある(5件以上)	A Cに該当しない	類似する実績がない(欠格)
		②手持ち業務量(本業務を含まず、特定後未契約のものを含む)(評価Cは欠格)	手持ち業務が10件未満かつ契約金額合計4億円未満	—	手持ち業務量が10件以上または4億円以上(欠格)
		③技術資格の有無(評価Cは欠格)	技術士	—	保有していない(欠格)
	主たる担当技術者	④過去5年間の類似業務の実績(評価Cは欠格)	本業務と類似する高度な実績がある(5件以上)	A Cに該当しない	類似する実績がない(欠格)
		⑤手持ち業務量(本業務を含まず、特定後未契約のものを含む)(評価Cは欠格)	手持ち業務が10件未満かつ契約金額合計4億円未満	—	手持ち業務量が10件以上または4億円以上(欠格)
業務実施方針等	⑥全体計画の策定に向けて、必要な作業内容が具体的に整理され、妥当な工程計画となっているか		<ul style="list-style-type: none"> ・業務を進める上での課題・検討事項を適切に把握し、必要な作業内容が具体的に整理されているか。 ・工程計画は妥当であり、実施期間に終わられる工程となっているか。 		
	⑦本市における道路交通の歴史・現状・課題認識の調査・分析方法が妥当なものとなっているか		<ul style="list-style-type: none"> ・本市の地域特性、それを踏まえた道路交通の歴史的経緯と現状を的確に把握するための調査・分析が示されているか。 ・調査・分析方法について、現実的かつ効果的なアプローチ方法が提案されているか。 		
	⑧道路交通に関する最新の知見やトレンド等の調査・分析方法が妥当なものとなっているか		<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通に関する最新の知見やトレンド等について、網羅的に把握しているか。 ・調査・分析方法について、現実的かつ効果的なアプローチ方法が提案されているか。 		
	⑨ロードマップの整理方法が妥当なものとなっているか		<ul style="list-style-type: none"> ・本市の地域特性等を踏まえて必要な観点とその合理的な理由が示されているか。 ・整理方法について、現実的かつ効果的なプロセスが提案されているか。 		
その他	⑩企業・担当者の取組意欲があるか		強い意欲が認められる	A Cに該当しない	意欲が認められない
	⑪業務の内容を的確に把握・理解しているか		特に優れている	A Cに該当しない	妥当でない
	⑫説明内容が整理され、わかりやすい資料が作成されているか		特に優れている	A Cに該当しない	妥当でない